

三十三

御願

東京市京橋区木挽町八丁目四番地

日本刀新聞社社長 金関力也

昭和拾七年七月卅一日

陸軍大臣東條英機殿

日本刀ニ対スル世人ノ関心ヲ高メ且ツ現代  
刀匠ノ作刀ニ対スル認識ヲ深カラシメ之  
ニ依ツテ武器日本刀ノ進歩向上ニ資ス



1610

官房御中

八月十四日

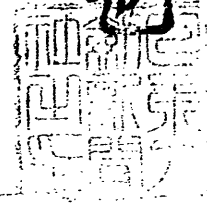
当部ニ於テ也

官房御中

当部ニ於テ

四番地

力也



当部、於、此、置、濟、之、付、結、了、相、成、度、  
陸軍省  
官房御中

当部、於、此、置、濟、之、付、結、了、相、成、度

八月十四日

1610

官房御中

陸軍省  
官房御中

且つ現代

ハカラシメズ

ハ上ニ資具セ

シルヲ主九目的トシテ自昭和拾七年八月  
 廿五日至今月三十日迄東京銀座松屋  
 百貨具店ニ於テ全國現代刀匠作刀日本  
 刀展覧會ヲ開催スルニ當リ其事業  
 達成ノ為ニ御省而後授ノ名称御許  
 可賜リ以此段友御願候也

# 新作日本刀展覧會

一會場

東京市銀座松屋百貨店

一期日

自昭和十七年八月廿五日至八月三十日

一出品者

全國刀匠中、上位ニ在ル者

一出品通告済

刀匠名 (七月廿八日現在)

塚本起正 高橋義宗 守次則定 全行宗 山信光  
 川島忠善 盛高 靖博 秋元昭友 法華三郎 太田親秀  
 今井貞重 未決 繁光 一文字天秀 井上貞包 笠岡清和  
 塚本正和 幡野昭信 山村外之 田中宗延 小宮四郎  
 塚越延延 富田祐弘 今井兼建 冲平忠國 宮城守國  
 島生信正 佐藤重剛 其他三十余名

一出品数

一刀匠拾振以内

一 刀身

出品刀ハ必ず鍛錬刀ナラズ  
刀長ハ二尺三寸前後ニシテ軍刀ニ適スルヲ

一 研上白鞘拵

研上白鞘拵ノ事

出品刀ハ賣場ニテ非賣品名ニ由リテ自由ナ

一 鍛錬公開

塚本起正 吉原國家刃匠會場

ニ於テ鍛刀器具演(但シ所轄警察署

署認可申請中)

一 陸海軍規格

軍刀外装出品(新外装ヲ含ム)

陸軍大臣東條英機殿

東京市京橋區木挽町八ノ四

日本刀劍新聞社

電話銀座(7)五二四七番  
振替口座東京一七八〇九八番

0195

昭和  
年  
月  
日